

産業振興戦略プラン

【平成 25～34 年度】

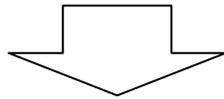
八 王 子 市

基本施策1 地域経済を支える産業の振興
施策1 産業振興の体制強化

戦略 1：産業振興にかかわる機関との連携

10年後の八王子の姿

- ・八王子の特徴である多様な産業支援機関が連携し、産業構造の変化に柔軟に対応する支援を活発に展開し、地域産業が活性化している。



活かすべき資源

- ・産業支援機関（八王子商工会議所、サイバーシルクロード八王子、TAMA協会、TAMA-TLO、多摩テクノプラザ、東京都中小企業振興公社多摩支社）、産業振興機関（観光協会、農協等）
- ・23大学等と11万人の学生 ・金融機関 ・東京都が整備を計画している産業交流拠点

戦略の内容

①ネットワークの強化

- ・産業支援機関・大学等・自治体・金融機関（以下「産業支援機関等」という。）の情報交換を行い、各機関の相互理解を深める。
- ・各機関が持つ支援案件に対しより良く支援ができるよう連携体制を強化する。
- ・支援機関の利用促進を連携して行う。

②ネットワークの拡大

- ・製造業系主体の支援機関連携の枠を広げ、商業、観光業、農業、その他さまざまな分野での連携を促進する。

③産業交流拠点の活用

- ・産業交流拠点の開設以降、産学連携等のネットワークによる活動や産業支援機関の支援の場として最大限活用する。

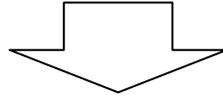
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
	①ネットワークの強化	・産業支援機関等による連絡会開催		産業交流拠点開設 による連携強化
②ネットワークの拡大	・商業、観光業、農業等の産業振興機関との意見交換実施	・分野を越えた産業支援機関、産業振興機関の連携推進		

戦略 2 : 産学公連携の推進

10年後の八王子の姿

- ・ 産業、大学等、産業支援機関、自治体の連携が活発に行われ、大学等が持つ教育資源や知的財産などの技術シーズが有効に活用されながら、新技術開発や新事業創出が図られ、経済活動が活発に行われている。
- ・ 大学（学生、教授など）や事業者との交流・連携が盛んに行われ、市外からも多くの人が産学の交流・連携を求めて訪れ、産学連携の拠点として賑わいが創出されている。



活かすべき資源

- ・ 23 大学等と 11 万人の学生
- ・ 20,000 社に及ぶ事業所
- ・ 先端技術を持つ企業をはじめとする約 1,700 社の製造業
- ・ 東京都が整備を計画している産業交流拠点

戦略の内容

①産業と大学等との関係強化

- ・ 産業支援機関のコーディネーターと大学等のコーディネーターとのネットワーク強化
- ・ 本市の多様な産業（工業、商業、観光業、農業）と大学等との産学連携を推進
- ・ 広域多摩地域や中央道沿線地域の産学公連携の推進

②大学等と連携した企業支援

- ・ 大学等の持つ知的財産などのシーズと事業者ニーズの情報交換、マッチング
- ・ 大学等の持つ教育資源を企業の人材育成に活用
- ・ 企業人材確保に向けた大学との連携

③産業交流拠点の活用

- ・ 産業交流拠点の開設以降、産学公連携の活動の場として最大限活用する。

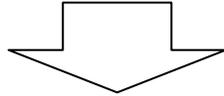
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
①産業と大学等との関係強化	・ 産業支援機関のコーディネーターと教育機関のコーディネーターとのネットワーク強化			産業交流拠点開設による関係強化
②大学等と連携した企業支援	・ 大学等の持つ知的財産などのシーズと事業者ニーズの情報交換、マッチング	継続実施		

戦略 3 : 産業交流拠点の整備・促進と連携

10年後の八王子の姿

- ・産業交流拠点を中心にイノベーションが促進され、新産業・新ビジネスが活発に生まれている。
- ・広域多摩が日本有数の研究開発地域の一つとなり、その中心都市八王子は海外も含めたビジネスマン、エンジニアが集まる産業交流都市になっている。



活かすべき資源

- ・産業の集積、交通利便性、広域多摩の中央に位置する地理的条件等、産業交流の中心となり得る潜在力
- ・市、商工会議所の他、TAMA協会、TAMA-TLO、サイバーシルクロード八王子等の産業支援機関のネットワーク
- ・23大学等と11万人の学生 ・東京都が整備を計画している産業交流拠点

戦略の内容

①産業交流拠点の整備促進

- ・東京都へ整備計画実現を積極的に働きかける。

②産業交流拠点の積極活用

- ・多様な産業支援機関を集約し、支援機関の相互連携強化と支援のワンストップサービスを実現する。
- ・多くの産業人で賑わう交流の場を創出し、常に新技術、新製品、新ビジネスが生まれる環境を作る。
- ・本市及び広域多摩地域が有する資源（産業、観光、大学等）の魅力在国内、国外に発信する。
- ・産業交流拠点の有効活用のため、広域多摩地域及び中央道沿道地域の自治体、産業支援機関とも連携する。
- ・学会、国際会議、産業展示会等を積極的に誘致する。

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

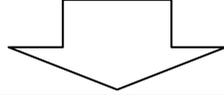
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①産業交流拠点の整備促進	・産業交流拠点整備促進のための広域多摩及び中央自動車道沿道地域への働きかけを実施	・近隣自治体、支援機関の連絡会設置を検討 ・シンポジウムや展示会等の産業イベント開催	産業交流拠点開設	

②産業交流拠点の積極活用	・産業交流拠点の活用方法等、施設整備に向けた検討と体制整備	・支援機関連携強化 ・広域多摩地域の産業力を国内外に発信 ・学会、国際会議等の誘致	・産業イベントの実施 ・産業交流拠点を中心にした産業支援、産業交流、情報発信の充実	
--------------	-------------------------------	---	--	---

戦略 4 : 人材の発掘と育成

10年後の八王子の姿

- ・ 知識や経験を持つ人材が、企業支援や産産連携・産学連携等の分野で地域産業を引っ張り、活躍している。
- ・ 八王子市が「経験や知識を活かし活躍できるまち」というイメージが定着している。



活かすべき資源

- ・ 20,000 社に及ぶ事業所とその経営者、従業員
- ・ 多様な産業支援機関
- ・ 企業 OB を含む 58 万人の人口
- ・ 23 大学等と 11 万人の学生

戦略の内容

- ①産業人材の発掘・育成・ネットワークの拡大
 - ・ セミナー等による産業人材の発掘
 - ・ 交流の場の提供による産業人材の育成、ネットワークの拡大支援
- ②産業人材の活動支援
 - ・ 産業人材が参加し、企業支援等の分野で活躍できる場の提供

※産業人材とは、企業への支援や産産連携、産学連携、地域間連携等により地域産業の活性化に貢献する事業者、企業OB、教授等

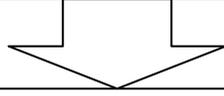
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①産業人材の発掘・育成・ネットワークの拡大	・ セミナー等による産業人材の発掘 ・ 情報交換や交流の場による産業人材の育成、ネットワークの拡大支援	継続実施		
		順次拡大		
②産業人材の活動支援	・ 産業人材が企業支援等の分野で活躍できる場の提供	継続実施		

戦略 5 : 企業誘致の推進

10年後の八王子の姿

- ・広域的な交通利便性をはじめとした本市の立地ポテンシャルを活かし、海外企業も含め、研究開発型企业やそれらを支える基盤型企业が集積し、雇用が創出され、地域経済が活性化している。



活かすべき資源

- ・ 高速道路などの交通インフラ
- ・ 豊富な労働力
- ・ 多様な産業支援機関
- ・ 製造業、商業、農業、観光業等多様な産業の集積
- ・ 23 大学等と 11 万人の学生

戦略の内容

- ①企業の立地や拡張を促進するための支援制度の充実
 - ・ 企業誘致条例の再構築
 - ・ 業務用地や業務施設の情報収集と情報提供
 - ・ 支援制度や本市の立地魅力の周知
- ②業務用地の活用と確保
 - ・ 東京都やUR都市機構等と連携した業務用地の有効活用
 - ・ 工業団地や街中（まちなか）準工業地域の業務用地・業務施設の有効活用
 - ・ 新滝山街道周辺地区や圏央道八王子西インターチェンジ周辺における業務用地の確保促進
(都市計画室との連携)
- ③立地魅力の向上
 - ・ 圏央道八王子西インターチェンジのフル機能化など、交通利便性の向上 (交通政策室との連携)

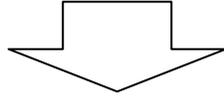
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①企業の立地や拡張を促進するための支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の「いきいき企業支援条例」による立地支援 ・ 業務用地や事業施設の情報収取と情報提供 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">企業立地支援制度の再構築</div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">継続実施</div>		
②業務用地の活用と確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都やUR都市機構等と連携した業務用地の有効活用 ・ 新滝山街道周辺地区等の業務用地の確保検討 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">継続実施</div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">継続実施</div>		
③立地魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通利便性の向上 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">継続実施</div>		

戦略 6 : 中小事業者支援制度の充実

10年後の八王子の姿

- ・地域の産業を支える中小事業者の集積が維持されている。
- ・支援メニューを有効に活用しながら、産業構造の変化に対応し、中小企業が新たな販路開拓や事業に取り組み、市内の産業が活性化している。



活かすべき資源

- ・多様な産業支援機関
- ・23 大学等と 11 万人の学生

戦略の内容

① 中小企業支援メニューの充実

- ・産業支援機関と連携した支援強化
- ・伴走支援による経営改善
- ・販路拡大や新分野挑戦への支援
- ・企業人材の育成

② 事業資金融資助成制度の充実

- ・利用者の実態把握
- ・個別相談会や伴走支援による融資資金の有効活用

③ 中小企業支援メニューの周知と利用促進

- ・支援メニューを積極的に利用していない中小零細企業に対して、市や都及び産業支援機関の支援メニューを周知し、利用を促進

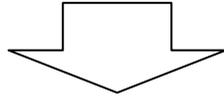
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
① 中小企業支援メニューの充実	・伴走支援による経営改善	継続実施		
② 事業資金融資助成制度の充実	・個別相談会や伴走支援による融資資金の有効活用	継続実施		
③ 中小企業支援メニューの周知と利用促進		継続実施		

戦略 7 : 雇用・就労支援

10年後の八王子の姿

- ・育児中の女性や、退職して地域に戻ってきた高齢者などが、身近な地域で働けるまち。



活かすべき資源

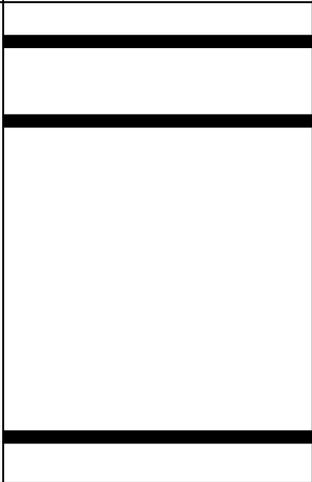
- ・20,000社に及ぶ事業所
- ・ハローワーク八王子、労働相談情報センター、東京しごとセンター多摩など国や都の労働関係機関

戦略の内容

- ①ライフステージにあった就労支援
 - ・子育て期など女性のライフステージに適した就労支援
 - ・高齢者のニーズに応じて活躍できる場の構築
- ②企業支援や新産業創出などにより新たな雇用を促進
 - ・企業誘致策や新産業創出によって新たな雇用の場を創出
 - ・中小企業の採用に関する支援
- ③関係機関と連携した就労機会の提供
 - ・マッチングの機会の提供
 - ・就職相談の充実
 - ・地域での出張セミナーの実施
- ④雇用のミスマッチの解消
 - ・市内企業の紹介と魅力の発信
 - ・現場を知る機会の提供

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

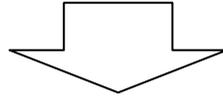
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①ライフステージにあった就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・再就職のための支援（職業訓練とマッチング支援等） ・身近な地域における就職支援（ハローワーク八王子と連携した就職支援セミナー（求人情報提供）を各市民センターで実施） 	求人状況等にあったメニューの構築		
		地域の特性・ニーズに応じた内容の充実		
		<ul style="list-style-type: none"> ・女性・高齢者のニーズに応じて活躍できる場と仕組みの構築 	市内企業の先進事例の紹介、勉強会等企業交流を実施	

<p>②企業支援や新産業創出などにより新たな雇用を促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致等による雇用創出 ・採用意欲のある中小企業の支援 			
<p>③関係機関と連携した就労機会の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク等と連携した就職機会の提供（就職面接会の実施、生活保護者等を対象とした市役所内のハローワーク常設窓口の設置等） ・しごと情報館での就職相談 ・各地域での出張セミナーの実施 			
<p>④雇用のミスマッチの解消</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーによる市内中小企業の知る機会の創出 			

戦略 8 : 若年者の雇用・就労支援

10年後の八王子の姿

- ・八王子の企業が若者などの市民によく知られている。
- ・地元の企業が欲しい人材育成がされている。



活かすべき資源

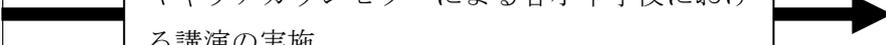
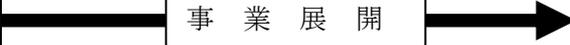
- ・ 20,000社に及ぶ事業所 ・ 23大学等と 11万人の学生
- ・ ハローワーク八王子、労働相談情報センター、東京しごとセンター多摩など国や都の労働関係機関

戦略の内容

- ① 小学校から大学までのキャリア教育支援【八王子の企業が市民によく知られている】
- ② 小学校から大学までのキャリア教育支援【企業が欲しい人材の育成】
- ③ 新卒など若者採用・人材育成等に対する中小企業支援
 - ・ 採用（面接会等）から採用後の新人教育、定着に向けた支援
 - ・ 企業間人事交流の実施
- ④ 正規雇用に向けた就労支援
 - ・ 関係機関と連携した若者の就職面接会などマッチング機会の提供
 - ・ 卒業後のひとり就職活動を防ぐための就職相談の充実
- ⑤ ひきこもり・ニート対策
 - ・ 相談機能の充実
 - ・ 関係機関との連携

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

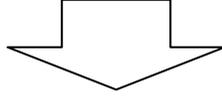
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
① 小学校から大学までのキャリア教育支援【八王子の企業が市民によく知られている】	【小中学生向け】 ・ 小中学校での地域企業を知る機会の創出（職業講演・職場体験）	・ 小中学生向け体験学習支援（職業体験・ものづくり体験）	全小中学校が地域企業と結び付き自主的に実施 産業交流拠点において地域企業が参加しての実施	

	<p>【高校・高専・大学生等向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業の情報提供 ・中小企業のイメージアップの仕掛け（八王子就職ナビ等） ・市内中小企業を直接見て知る機会の創出（バスツアー等） 			
<p>② 小学校から大学までのキャリア教育支援【企業が欲しい人材の育成】</p>	<p>【小中学生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での職業講演「働くこととは」 	<p>キャリアカウンセラーによる各小中学校における講演の実施</p> 	<p>【高校・高専・大学生等向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育支援（講座開催、インターンシップ等） 	
<p>③ 新卒など若者採用・人材育成等に対する中小企業支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採用（面接会等）から採用後の新人教育、定着に向けた支援 	<p>市内企業の先進事例の紹介、勉強会等の企業交流を実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・定着に向けた支援メニューの検討（企業間インターンシップといった企業間交流等） 	<p>事業展開</p> 
<p>④ 正規雇用等の就労支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク等と連携した就職面接会の実施 ・しごと情報館での就職相談充実 			
<p>⑤ ひきこもり・ニート対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携によるサポートの実施 		

戦略 9 : 労働環境の整備

10年後の八王子の姿

- ・子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて、
 多様な生き方・働き方が選択・実現できる職住近接のまちになっている。



活かすべき資源

- ・労働相談情報センターなど国や都の労働関係機関
- ・職住近接した住環境 ・多くの保育施設や介護施設

戦略の内容

①ワークライフバランスの支援

- ・育児・介護と仕事の両立支援（多様な働き方（短時間勤務制度、ワークシェア、在宅勤務等）の推進等）
- ・仕事と家庭の両立支援に関する国・都制度などの周知
- ・中小企業のワークライフバランス推進に向けた国・都の支援事業の周知

②関係機関と連携した労働環境整備

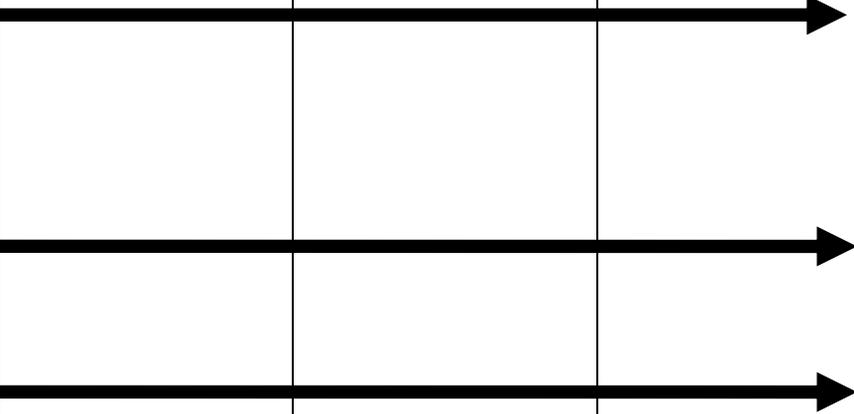
- ・65歳までの雇用義務化による労働環境整備の支援
- ・労働相談の充実及び労働法規などの周知（国の法改正などの情報提供）
- ・女性の就労環境の整備

③中小企業における福利厚生制度などの充実

- ・労働関係機関等との連携による制度の推進

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

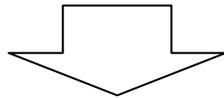
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①ワークライフ バランスの支援	・育児・両立支援に向け た中小企業における状況 把握（ヒアリング等）	・実態からみた事業展 開の検討及び実施		→
	・仕事と家庭の両立支援 に関する国・都制度の周 知			→
	・中小企業のワークライ フバランス推進に向けた 国・都の支援事業の周知			→

<p>②関係機関と連携した労働環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65 歳までの雇用義務化による労働環境整備に対するアドバイス支援（東京都労働情報相談センターとの連携） ・ 労働相談情報センターと連携した労働相談や労働法規等のセミナー実施 ・ 女性の就労環境の整備（事業所内保育施設の国補助等の支援の周知） 			
<p>③中小企業における福利厚生制度などの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労者福祉サービスセンターへの連携及び補助 			

戦略 10：製造業の振興

10年後の八王子の姿

- ・ 高度な技術力を持つ多くの製造業が地域経済を活性化させ、首都圏西部の産業経済の拠点となっている。
- ・ 地域の製造業において、イノベーションにより新しい製品や技術が活発に生み出されている。



活かすべき資源

- ・ 高度な技術力を持つ製造業、情報通信産業の集積
- ・ 先端技術センター、TAMA協会、TAMA-TLO等技術支援のできる支援機関
- ・ 東京都が本市に整備を計画している産業交流拠点

戦略の内容

①技術の一層の高度化

- ・ 技術の高度化のための産学連携、産産連携を促進する。
- ・ 助成制度情報や技術情報等を収集、提供し活用を促進する。
- ・ 産産連携、産学連携による共同研究の場を提供する。
- ・ 製造業の構造変革に対応すべく、情報提供等で支援する。
- ・ 大企業と中小企業のマッチングの機会を提供する。

②販路開拓支援

- ・ 販路開拓や技術力のPRを支援する。
- ・ 販路から見た技術開発、製品開発を支援する。
- ・ 海外販路の開拓を支援する。
- ・ 産業支援機関と連携して、グローバル人材の育成を支援する。

③技術の高度化を目指す人材の育成

- ・ 大学等と連携した人材育成セミナーを実施する。

④繊維産業の振興

- ・ 販路開拓や新製品の開発を支援する。

⑤産業交流拠点の活用

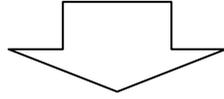
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
①技術の一層の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・産学、産産連携支援強化 ・助成制度情報、技術情報の収集、提供 ・共同研究の場提供 ・大企業と中小企業のマッチング 		産業交流拠点開設による支援強化	
			継続実施	
			継続実施	
			継続実施	
②販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会出展を支援 ・グローバル人材育成支援 			
③技術の高度化を目指す人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー実施 		継続実施	
④繊維産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会出展支援 ・新製品開発支援 			

戦略 11：情報通信産業の振興

10年後の八王子の姿

- ・情報通信環境のさらなる発展に市内の情報通信産業が柔軟に対応している。
- ・市内の情報通信企業が地域産業や地域社会の情報通信基盤の分野で活躍している。



活かすべき資源

- ・情報通信産業の集積・八王子ITネットワーク等のIT企業の連携体
- ・八王子商工会議所、サイバーシルクロード八王子等の支援機関
- ・23大学等と11万人の学生

戦略の内容

①技術力の維持向上

- ・IT事業者間の交流・連携を促進する。
- ・最新のIT技術の周知普及を支援する。

②地域産業への貢献と販路拡大

- ・IT事業者による地元事業者へのIT環境普及活動の展開と販路開拓を支援する。

③人材確保

- ・大学等と連携したIT人材の育成・確保を支援する。

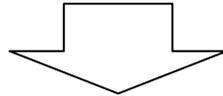
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期	中期	長期
		(平成 26～28 年度)	(平成 29～31 年度)	(平成 32～34 年度)
①技術力の維持向上	・八王子ITネットワークによる連携活動、技術力向上活動支援	→	→	→
②地域産業への貢献と販路拡大	・八王子ITネットワークによる地元事業者へのIT環境普及活動支援	→	→	→
③人材確保	・大学等と連携したIT人材の育成・確保検討	・事業実施	→	→

戦略 12 : 横断的連携による新産業の創出支援

10年後の八王子の姿

- ・大学等や商工業から農業に至る幅広い産業等、八王子ならではの多様な主体の連携により新しい製品やサービスが生まれ、発信されている。
- ・新産業の創出に挑戦しようとする人々が、事業を展開する場として八王子を選ぶようになっている。



活かすべき資源

- ・製造業、商業、農業、観光業など多様な産業の集積
- ・製造業の高い技術力
- ・匠のワザを持つ人材
- ・23 大学等と 11 万人の学生
- ・職住近接した住環境
- ・豊富な自然と文化、歴史
- ・東京都が整備を計画している産業交流拠点

戦略の内容

①新産業創出に向けた支援の充実

- ・市における支援体制、支援機関との連携による支援体制の検討・構築
- ・環境や医療・介護等の成長分野の課題とビジネスによる解決手法の情報の相互交流を促進
- ・八王子発の製品・技術・サービスの開発支援と情報発信
- ・新しい製品、新しいサービスを市の施設や市内の民間施設等で試せるようなマッチングの実施

②イノベーション人材の育成

- ・新しい価値、新しい事業を生み出すことのできる人材を育成

③産業交流拠点の活用

- ・産業交流拠点開設以降は、新産業創出のための幅広い産業分野の交流の場として産業交流拠点を最大限に活用する。

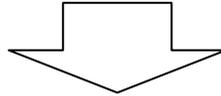
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①新産業創出に向けた支援の充実	・支援体制の検討	・支援体制の構築、支援実施 ・八王子発の製品・技術・サービスの情報発信	順次拡大	→
			順次拡大	→
②イノベーション人材の育成	・イノベーション人材育成講座の実施			→

戦略 13 : 創業者支援

10年後の八王子の姿

- ・創業支援体制が充実しており、「創業する場として八王子が最適」というイメージが多摩地域で確立されている。



活かすべき資源

- ・多様な産業支援機関
- ・金融機関
- ・市内事業者の様々なネットワーク
- ・民間インキュベーション施設

戦略の内容

- ①創業支援メニューの充実
 - ・創業ノウハウを提供するセミナーの充実
- ②創業環境の整備
 - ・インキュベーション施設の整備促進
 - ・様々な創業支援メニューをワンストップで提供できる仕組みの整備
 - ・地元経済界を含めたネットワークづくりの支援
 - ・出店や事務所を開設したい人に、適当な空店舗・空フロアを紹介する仕組みの構築
 - ・中心市街地で空き店舗を利用して開業する人への支援
- ③創業支援メニューの周知と利用促進
 - ・創業支援メニューのポータルサイト構築と運用

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

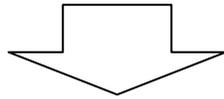
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①創業支援メニューの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・本気の創業塾の充実 ・他の産業支援機関等が実施する創業セミナーの積極活用 			→
				→
②創業環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション施設入居促進 ・創業支援メニューのワンストップ化整備 ・地元経済界を含めたネットワークづくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション施設の整備検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション施設の整備促進 	→
		<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援メニューのワンストップ化運用 		→
		<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク活用によるビジネス創出 		→

	<ul style="list-style-type: none"> ・出店や創業希望者に、適当な空店舗・空フロアを紹介する仕組みの構築 ・中心市街地で空き店舗をつかって開業する人への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・出店や創業希望者に、適当な空店舗・空フロアを紹介する仕組みの運用 		
<p>③創業支援メニューの周知と利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援メニューのポータルサイト構築と運用 			

戦略 14 : 「おもてなし都市」の形成による新たなにぎわいの創出

10年後の八王子の姿

- ・産業交流拠点の整備を契機に、多摩地区を代表する「おもてなし都市」として、まちは多くの来街者でにぎわっている。



活かすべき資源

- ・商業、製造業、農業、観光業など多様な産業集積
- ・東京都が整備を計画している産業交流拠点
- ・匠のワザを持つ人材
- ・23 大学等と 11 万人の学生
- ・豊富な自然と文化、歴史
- ・オリンパスホール八王子等の施設

戦略の内容

①コンベンションやイベントの誘致と受入体制の構築

- ・「MICE都市推進センター(仮称)〔コンベンションビューロー〕」の設置

②ニューツーリズムのしくみづくり

- ・環境ツアー、農業体験や工場見学、ものづくり体験、歴史探索ツアー、花見ツアーなど、八王子の資源を活かした企画の構築・仕掛けづくり
- ・メニューのコーディネート

③情報発信

- ・「八王子インフォメーションセンター」、
「観光・まちなか案内所（八王子駅南口総合事務所内）」、
高尾山口駅前の観光案内所等を中心とした、
市民協働による案内・情報発信での八王子全体の「おもてなし力」の向上
- ・産業交流拠点を活用した情報発信
- ・ソーシャルメディアの活用による情報発信やまちなかの案内

④おもてなし人材を育成

- ・商業、観光、農業等各分野において「おもてなし」について学ぶためのしくみづくり

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

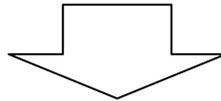
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①コンベンションやイベントの誘致と受入体制の構築	・MICE都市推進センター(仮称)設立に向けた調査	・MICE都市推進センター(仮称)設立に向けた準備と設立、運営	・MICE都市推進センターの運営	

②ニューツーリズムのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした企画の構築・仕掛けづくり 		<ul style="list-style-type: none"> ・他団体との連携・サポートによる実施 	
③情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信体制の整備 ・「はちおうじまちナビ」による中心市街地のまちなか情報、観光情報の発信の充実と対象エリアの拡大 		<ul style="list-style-type: none"> ・整備を活かした積極的な情報発信 	
④おもてなし人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの人材育成の仕組みづくり 		<div data-bbox="887 656 1254 719" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; text-align: center; padding: 5px;"> 順次拡大 </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイドの公募と人材の育成 		<div data-bbox="887 806 1254 869" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; text-align: center; padding: 5px;"> 順次拡大 </div>	

戦略 15 : 中心市街地活性化の推進

10年後の八王子の姿

- ・買い物やビジネス、イベント、コンベンション等で訪れる来街者が、魅力ある店舗や花や緑のあふれる美しい街並みにひかれて、歩いて回りたくなるような中心市街地となつてにぎわっている。



活かすべき資源

- ・意欲の高い商店街
- ・一般社団法人まちづくり八王子
- ・文化と歴史
- ・専門性の高い魅力ある個店
- ・イベントの集客力
- ・空店舗、空フロア
- ・23 大学等と 11 万人の学生
- ・増加するまちなか居住者

戦略の内容

- ① 来街者が安全・安心に、楽しく回遊する仕組の構築
 - ・中心市街地の文化や歴史、専門性の高い魅力ある個店、楽しいイベント等々を来街者に効果的にアピールする仕組みを構築するとともに、憩いや賑わいを創出するための広場の整備や、歩きやすい歩道、緑やベンチ等の休めるスペースを配置して楽しく安全・安心に回遊できるよう促進する。
 - ・今後推進していく駅周辺のハード整備や道路整備と相乗効果を図れるような景観整備やリノベーション等まちの魅力づくりの支援をする。
- ② 若者や学生を始めとした多世代が中心市街地に集える仕組みを構築
 - ・11 万人の学生、中心市街地及び周辺地区に多く居住する若者世代が、中心市街地に魅力を感じ、集える仕組みを構築する。
- ③ 空店舗、空フロア対策の実施
 - ・店舗オーナーや地権者と協働し、空店舗、空フロアに商店街や近隣居住者が必要とする機能や店舗の立地を促進する。
 - ・開業したい人が開業しやすい仕組みの構築を促進する。
- ④ 来街者が利用しやすい駐車・駐輪環境を整備
 - ・駅前共通駐車券の普及や、民間駐車場と市営駐車場の連携を強化することで、自動車で訪れる来街者が利用しやすい環境を整備する。
- ⑤ 中心市街地活性化の担い手になる組織や人の支援

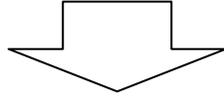
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①来街者が安全・安心に、楽しく回遊する仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子まちナビの普及促進 ・まちなか情報誌、店舗紹介マップ等々の作成支援 ・中心市街地の回遊性を促進するイベントの支援 ・八王子駅北口インフォメーションセンターや観光・まちなか案内所による情報発信 ・「まちの魅力づくり」に対する国・都等の補助事業活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 独立運営・エリア拡大 		
②若者や学生を始めとした多世代が中心市街地に集える仕組みを構築	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを主体的に行える若手人材の掘り起し ・大学等と商店街が連携した事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕組みづくりの検討（ワークショップ等）と事業の実施 ・仕組みづくりの検討（ワークショップ等）と事業の実施 		
③空店舗、空フロア対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗改修補助事業の実施 ・店舗オーナー等への空き店舗・空きフロア対策協力への啓発 ・空き店舗状況の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗と開業したい人をマッチングする仕組みの構築と運営 		
④来街者が利用しやすい駐車・駐輪環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> ・共通駐車券普及に向けた検討 ・来街者が利用しやすい駐車・駐輪場のありかたの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通駐車券の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> 普及拡大 	
⑤中心市街地活性化の担い手になる組織や人の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人まちづくり八王子への活動支援 ・まちづくりを主体的に行える人材の掘り起し 	<ul style="list-style-type: none"> 自主運営 		

戦略 16 : 商業の振興

10年後の八王子の姿

- ・商業集積地が活性化し、活気に満ちている。
- ・魅力のある個店づくりで、商店街の競争力は高まっている。
- ・商店街が高齢者や子育て世代等の地域のニーズに対応し、コミュニティの核になっている。



活かすべき八王子の資源

- ・意欲のある商店街、継承者
- ・58万市民の購買力
- ・高速道路や鉄道などの交通インフラ
- ・魅力ある個店
- ・豊富な観光資源

戦略の内容

- ① 地域ブランド、八王子ブランドの創出により、八王子ならではの土産品の開発を推進。
 - ・高尾山のブランド力を生かした土産品や、市内業者と協力して八王子ブランドを創出し、交通インフラの強みを生かして商圏の拡大。
- ② 商店街の活性化や組織化の支援。
 - ・国や都の補助金を活用し商店街を支援し活性化をはかる。
- ③ 商店街の魅力を発信。
 - ・八王子まちナビを中心市街地から他の地域に拡大。
- ④ 商業活性化に向けた、まちづくりを主体的に行える人材の掘り起しや、後継者を含む人材育成
 - ・商業者を対象とした研修による人材育成
- ⑤ 八王子の農産物や加工品を、商店や飲食店と結ぶことにより新しい魅力を創造し、商業と農業を活性化。
- ⑥ 買い物弱者への対策等の地域ニーズを商店街の商機ととらえ販路拡大につなげる。
 - ・地域コミュニティの核として、地域課題の解決に取り組む。

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

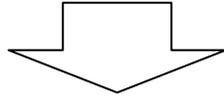
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①地域ブランド、八王子ブランドの創出	・ブランドの開発	ブランド品の販売		
②商店街の活性化や組織化の支援	・国や都の補助金を活用し活性化をはかる。			
③商店街の魅力を発信		・八王子まちナビの対象エリアを拡大		

④商業活性化に向けた、後継者を含む人材育成	・商業者を対象とした研修による人材育成			
⑤八王子の農産物や加工品を、商店や飲食店と結ぶことにより新しい魅力を創造		・商業者と農業者、加工業者とのマッチング		
⑥買い物弱者対策	・商店街と検討を行う	 ・モデル事業	 ・実施	

戦略 17：観光地の魅力の向上

10年後の八王子の姿

- ・自然・文化・歴史等の豊かな観光資源が戦略的に総合化され、全国に魅力を発信している。
- ・八王子の観光情報や物産など八王子の魅力を継続して発信しているスポットがある。
- ・国内外から多くの人々が八王子に来訪している。



活かすべき資源

- ・高尾山の存在
- ・城跡（滝山城、八王子城）
- ・都心からのアクセスの良さ
- ・多くの人で賑わうイベントの存在
- ・伝統ある街
- ・文化・歴史の充実
- ・人口の多さ
- ・山里風景
- ・浅川

戦略の内容

- ① 既存の観光資源の再活用
 - ・既存の観光資源を活用した観光ルートの構築
- ② 観光拠点施設の魅力の向上
- ③ 様々な媒体を活用した観光情報の発信
 - ・多言語に対応した協働型情報発信・案内の充実
 - ・PR力のあるメディアを積極的に活用した情報発信
 - ・常設観光案内所の設置
 - ・フィルムコミッション事業の見直し
- ④ 八王子の魅力再発見
 - ・既存のイベントの再構築
- ⑤ 民間の力（学生・ボランティア等）と連携した観光案内等ホスピタリティの向上

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

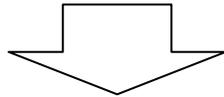
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
① 観光資源の再活用	・滝山観光検討会議の設置（駐車場整備を含めた観光戦略の検討）	・戦略に基づく事業計画と展開	 順次実施	
② 拠点施設の魅力の向上	・たやけ小やけふれあいの里事業の再構築と計画的な修繕 ・インフォメーションセンターから発信する魅力あるコンテンツの仕組みづくりの検討と実施	 順次実施		
		 順次実施		

<p>③ 観光情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアを活用した情報発信 ・(多言語を含む)観光案内機能の充実化 ・積極的な市外でのPRの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッション事業の見直しとFCを活かした市域情報の発信事業実施 	<p>順次実施</p>	
<p>④ 魅力の再発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にむけた計画策定 	<p>事業の実施</p>	<p>順次実施</p>	
<p>⑤ おもてなしの心(ホスピタリティ)の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生やボランティアなど協働してくれる人の参加意欲ややる気を醸成するシステムの検討と改善 		<ul style="list-style-type: none"> ・システムを活かした協働等による実施 	

戦略 18 : 新たな観光資源の発掘・活用

10年後の八王子の姿

- ・「水」と「森」のゲートシティとして、地域の特徴を活かした観光資源を発掘し、集客力のあるフェスティバルシティとして、統一感ある新たなイベントが提案され、実施されている。
- ・様々なニーズに対応した観光サービスが提案され、産業交流拠点を中心に多くの来訪者で賑わう街が実現している。



活かすべき資源

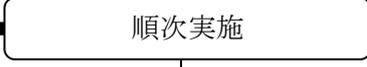
- ・都心からのアクセスの良さ ・市を代表するイベントの存在 ・山里風景 ・伝統ある街並
- ・文化・歴史の充実 ・水と森（浅川や広域高尾の自然）

戦略の内容

- ① 新たな観光サービス
 - ・サイクルネットワークの構築と体験型観光事業や産業観光の推進
- ② 隠れた観光の魅力の発信
 - ・隠れていた様々な観光資源を結びつけ、中心市街地と広域高尾を結ぶ新たな魅力を提供・発信することで地域の活性化に寄与
 - ・フェスティバルシティとしての魅力を発信
- ③ 観光大使やフィルムコミッションを活用した、新たな観光資源の創造
- ④ 新たな拠点施設の設置

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
① 新たな観光サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業振興会議の提案に基づく計画策定 ・ニューツーリズムの検討と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興会議の報告に基づく計画の社会実験及び計画の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業振興会議に基づく計画の実施 	<div style="text-align: center;"> </div>
② 隠れた観光の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業振興会議の提案に基づく観光資源を整理し、観光資源を結び付けた誘客目的の取組を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を活かした取組の検討と実施 	<div style="text-align: center;"> </div>	

③ 新たな観光資源の創造	・観光大使の再検討とPRコンテンツとしてのフィルムコミッション運営の再構築	新たなPRコンテンツとしてのフィルムコミッションの実施	→	
④ 新たな拠点施設の設置	・高尾の里拠点施設の建設着工	 ・高尾の里拠点施設の開館・運営	→	
⑤ 新たな観光コンテンツの提案・提供	・ニーズに即した新たな観光コンテンツの考察	・関係団体との新たな観光コンテンツ提案へのワークショップと実施	→	

戦略 19：都市型農業環境の整備

10年後の八王子の姿

- ・農業の担い手が確保され、安定した農業経営ができています。
- ・市街化調整区域内の農地では流動化が進み、農地が有効活用されている。
- ・山間部では、野生獣による農作物被害が減少し、安心して農作物の栽培ができています。

活かすべき資源

- ・市内農家 ・JA八王子 ・NPO法人「八王子ひよどり農業支援センター」 ・20,000社に及ぶ事業所
- ・23大学等 ・認定農業者 ・農業ボランティア ・新規就農希望者 ・警察署
- ・ボランティアによる追い払い駆除隊

戦略の内容

- ① 農業の担い手確保（市街化区域・市街化調整区域内農地）
 - ・認定農業者の認定を推進し、経営改善計画の実現に向け、国や都と連携し企業的経営感覚に優れた農業者を育成する。
 - ・高齢で農業従事が困難な状況にある農家や人手不足にある農家に対して、援農ボランティアや農作業の受託者を派遣「はちおうじ農業塾」を活用し、援農ボランティアや農作業受託者の育成を図る。
- ② 農地の有効利用（市街化調整区域内農地）
 - ・耕作放棄された未活用農地の調査、及び、貸出、借受等の希望調査の実施
 - ・認定農業者を中心に、規模拡大を望む中核農家に農地を集積し、効率的農業を推進する。
 - ・新規就農者等を対象とした農地の斡旋により農地の流動化を推進する。
- ③ 農業基盤整備（市街化区域・市街化調整区域内農地）
 - ・農地の灌漑施設の整備
 - ・農道・水路等農地関連施設の整備
- ④ 有害鳥獣被害防止策の強化（市街化調整区域内農地）
 - ・市民と共に農地を守るプロジェクトの推進（市民と協働し野生獣の住処となる山林化した農地の草刈等を行うことで、農作物被害の削減に努める。）
 - ・追い払い駆除隊（ボランティア）による農地のパトロール及び捕獲の強化
- ⑤ 農業資源を活用した、新事業の創出〔6次産業化の推進〕（市街化区域・市街化調整区域内農地）
 - ・異業種（商・工業者、企業、大学等）との連携による新たな農産品の開発
 - ・観光分野と連携し、果実の摘取農園や農産物直売所、農ある風景等を観光資源として活用
- ⑥ ふれあい農業の充実
 - ・市民農園の充実、農家の経営する体験農園の開設推進
 - ・農業者と市民との交流イベントの充実
- ⑦ 食の安全・安心の確保、地産地消の推進
 - ・都と連携し東京エコ農産物認証制度の普及推進（東京都特別栽培農産物認定制度及びエコファーマー認定制度からの移行の推進）
 - ・「道の駅八王子滝山」等農産物直売所を拠点とした地産地消の推進

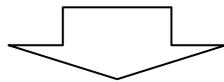
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
①農業の担い手確保		継続実施		
②農地の有効利用		継続実施		
③農業基盤整備		<ul style="list-style-type: none"> ・農地の灌水施設整備 (基本設計) H26 ・水路及び関連施設の整備 H26 ・農道整備(基本設計) H27 	継続実施 継続実施 継続実施	
④有害鳥獣被害防止策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と共に農地を守るプロジェクト ・ボランティアによる追い払い駆除隊員によるパトロール及び捕獲の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定 	継続実施 継続実施	
⑤農業資源を活用した新事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種(商・工業者、企業、大学等)との連携による新たな農産品の開発 ・観光分野と連携し、果実の摘取農園や農産物直売所、農ある風景等を観光資源として活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・H26 実施予定 	継続実施 継続実施	
⑥ふれあい農業の充実		継続実施		
⑦食の安全・安心の確保、地産地消の推進		継続実施		

戦略 20 : 林業の再生

10年後の八王子の姿

- ・木材価格が安定し、本来の林業が蘇える。
- ・伐採時期に達した森林から木材が搬出され植栽されることになり、本来の林業事業が成り立っている。
- ・木材利用促進計画を策定し、公共建築物等での木材利用が図られている。
- ・森林経営計画での森林整備が実施されることで立木搬出が行われる。
- ・森林が適切に管理され、公益的機能が向上している。



活かすべき資源

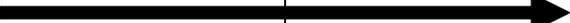
- ・森林
- ・木材生産組合（製材所）
- ・林業研究会

戦略の内容

- ② 森林産業の創出
- ・公共事業による木材利用推進を行うことで木材の需要を広げる。
 - ・管理ができない森林は森林経営計画への加入を進める。
 - ・公共施設などで森林に関するパネルや木製品の展示。
- ③ 森林の保全
- ・森林を有効に利活用できる仕組みづくり。
 - ・計画的な森林整備の実施

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期	中期	長期
		(平成 26～28 年度)	(平成 29～31 年度)	(平成 32～34 年度)
① 森林産業の創出 ・公共事業による木材利用推進を行うことで木材の需要を広げる	・木材製品の企画立案	→ 関係機関との連携 →		
	・木材製品の作製		→ 随時作製 →	
	・木材製品の配布		→ 配布先の協議 →	
	・管理ができない森林は森林経営計画への加入を進める。	→		
	・公共施設などで森林に関するパネルや木製品の展示	→		

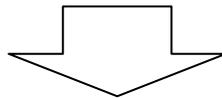
② 森林の保全	・森林を有効に利活用 できる仕組みづくり。 (保安林の施業要件 の見直しの働きかけ) ・計画的な森林整備 の実施			
---------	---	--	--	---

基本施策3 まちの魅力を向上させる産業
施策7 地域資源を活用する産業の振興

戦略 21 : 地域ブランドの創出

10年後の八王子の姿

- ・八王子ブランド・地域ブランドが創出されている。
- ・開発されたブランド品は、市内のみでなく、全国的に販売されている。
- ・八王子の物産や観光大使・キャラクターをはじめとする資源がブランドとして広く知られており、好評を博している。



活かすべき資源

- ・認定農業者を中心とした意欲ある生産者
- ・豊富な農地
- ・消費地に近い
- ・道の駅、農産物直売所、スーパー、量販店
- ・高尾山の存在
- ・都心からのアクセスの良さ
- ・市を代表するイベント
- ・観光大使が著名人

戦略の内容

- ① 八王子ブランド・地域ブランドの創出
 - ・製造業、商業、観光業、農業等の事業者や大学等と連携したブランド創出の推進
 - ・八王子産農産物など地域資源を活用した特産品や加工品の開発によるブランドの創出
- ② 八王子ブランドの選定・認定のしくみづくり
- ③ 新たな八王子のイメージを創出するイベント等の開催(市民や来街者による選出・認定等)
- ④ 取り組みを行う団体、事業者等への支援(商標登録の支援など)
- ⑤ イベントや観光大使・キャラクターを活用した八王子ブランドの知名度向上
- ⑥ 八王子ブランドを発信するための拠点の構築
- ⑦
- ⑧ 道の駅八王子滝山を拠点とした農産物直売所での販売強化
 - ・地場農産物を使ったブランド品のPR及び販売

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
①八王子ブランド・地域ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業、商業、観光業、農業等の事業者や大学等と連携してブランド創出の推進 ・八王子産農産物など地域資源を活用した特産品や加工品の開発によるブランドの検討 		<p>順次拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子産農産物など地域資源を活用した特産品や加工品の開発によるブランドの創出 	<p>順次拡大</p>
②八王子ブランドの選定・認定のしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子ブランド選定・認定制度の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 八王子ブランド選定・認定制度の実施 	
③取り組みを行う団体、事業者等への支援(商標登録等の支援)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域商標登録等の支援 		
④新たな八王子のイメージを創出するイベント等の開催(市民や来街者による選出・認定等)	<ul style="list-style-type: none"> ・T-1グランプリ等のイベントへの協力 			
⑤イベントや観光大使・キャラクターを活用した八王子ブランドの知名度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子の観光大使・キャラクターとの協働によるPRの強化 		<p>順次拡大</p>	
⑥八王子ブランドを発信するための拠点の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドを発信するための拠点の検討 ・道の駅八王子滝山の農産物直売所等を活用したブランドの発信 		<ul style="list-style-type: none"> ブランドを発信するための拠点の整備 <p>順次拡大</p>	